

明日への宣教のために聖ニコライの教えを振り返る

日本ハリストス正教会教団では、「正教」を日本に伝えた使徒聖ニコライに関する記念祭を三年連続して開催します。日本正教会は、「明日へ」という希望と光をもって神の国の人々に宣教するため、改めて聖ニコライの偉業を心にとめると同時に、記念行事を通して聖ニコライという偉人を世に広く伝えていきます。



「正教を説き明かす神の言葉～聖書・祈祷書類の翻訳」

2010年は、「使徒聖ニコライ列聖40年記念」（「列聖」とは聖人と認められること）の年であり、また、日本の正教会が自治教会（経済および運営上、母教会から自立すること）となってから40周年の年です。この記念祭は「正教を説き明かす神の言葉～聖書・祈祷書類の翻訳」をテーマとしています。「正教」とは文字通り「正しい(Ortho)」「教え(dox)」であり、聖書や祈祷書の言葉はこの「正しい教え」を伝えています。聖ニコライは中井木菟庵という良き助手を得て、日本に来てから永眠するまで、この大切な「聖書や祈祷書」を日本語に翻訳しつづけました。「翻訳」は聖ニコライのライフ・ワークの一つでした。

記念講演会

中井木菟庵が大坂豪徳堂の出身の漢学者であったことから、「豪徳堂記念会100周年記念を兼ねて、大阪大学の共催で「記念講演会」が行われます。アレクセイ・ボタコフ氏、かつて東京大学にて「明治期日本の文化における東方正教会の位置および影響」という修士論文を執筆、殊にニコライ・中井の翻訳研究に造詣の深い方。彼等の翻訳事業を振り返り、その特徴、意義について講演されます。

また、大阪ハリストス正教会管轄司祭の水口神父により、大阪大学に所蔵されている中井木菟庵の日記から翻訳に情熱をかける聖ニコライの姿を浮き彫りにする講演も行われます。参加費無料、申込み不要。どなたでも参加できます。直接会場までお越し下さい。

記念展示会

大阪ハリストス正教会信徒会館三階の一室にて、「明治期の正教会出版文化」というテーマで記念展示会を行います。石版印刷によって発刊された書物類から、翻訳された聖書・祈祷書類、中井木菟庵の自筆原稿などを展示。

会期は今のところ一週間の予定。時間は午後1時より5時まで（初日は夕方4時30分から6時まで）。入場料無料。

聖体礼儀と祝賀会

10月10日(日)10時より、全国の神品教徒者、信徒が大阪生神女庇護聖堂に集まり、聖体礼儀が行われる。祈祷後、大阪教会信徒会館にて祝賀会。

モレーベンと聖堂見学

10月11日(月・夜)は、京都正教会へ会場を移動し、生神女福音聖堂にて、聖ニコライのモレーベン(感謝祈祷)を行い、使徒聖ニコライが成聖したと見られる数少ない貴重な教会の一つである京都の聖堂を見学する。



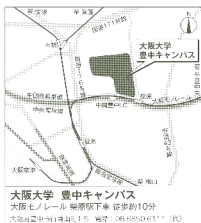
翻訳事業に専念する聖ニコライと中井師



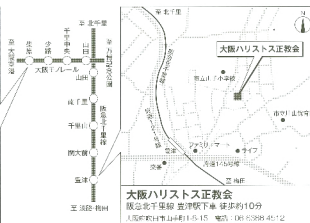
石版印刷の「日語経文」 中井師自筆「祭日経」原稿
(大阪ハリストス正教会所蔵)



翻訳・出版された聖書・祈祷書類



大阪大学 豊中キャンパス
大阪七ノノール 豊中駅前 徒歩約10分
大阪バスセンター徒歩約15分 電話: 06-6385-0111 (代)



大阪ハリストス正教会
阪急北千早線 豊中駅前下車 徒歩約10分
大阪バスセンター徒歩約15分 電話: 06-6389-4512



京都ハリストス正教会
地下鉄烏丸線 丸太町駅下車 徒歩約10分
京都バスセンター徒歩約15分 電話: 075-251-2453

詳しいお問い合わせは 大阪ハリストス正教会まで

大阪府吹田市山手町1-8-15 Tel.06-6388-4512 Fax.06-6389-3411 osaka-orthodox@sutv.zaq.ne.jp